

# 日本の食と農を考える 2022 年度公開研究会のお知らせ

## 第 4 回 「生協の産直を考える」

2022 年 9 月 6 日 日本科学者会議食糧問題研究委員会

日本における農業の生産と消費を結ぶ 1 つの大切な方法として、多くの人々の協力で生協産直を全国各地で展開し、さらに今後も広がっていくことでしょう。

ところでその形態は多種多様で、かつ課題もいくつか抱えています。そこで先進的な事例から、生産者や地域社会への貢献も含め、生協産直の在り方を考えますのでぜひご参加ください。

記

### ①テーマ 「生協の産直を考える」

#### ②概要

全国で世帯の約 3 分の 1 を組織している生協においては、生鮮品における生協産直がブランドとして、運動と事業の両面で大きく貢献しています。

その生協産直の先駆的な事例として、①JA やさと有機生産部会と②沖縄恩納村モズクがあり、それらの取り組みを紹介します。

特に後者は全国の 32 の生協が参加し、恩納村漁協・生協・食品会社・恩納村が協同し、モズク商品の利用に応じた基金でサンゴの養殖を進め、すでに 3 万 5000 本を超えて豊かな里海創りに貢献しています。さらに 4 者の協定書で陸地の環境保全へも対象を広げ、生協産直の商品を通して地域社会の発展にも繋がり、それぞれに関わった人たちも元気に活動しています。

こうした 2 つの事例から、社会に役立つ生協産直の在り方や課題を考えます。

#### ③報告者

西村 一郎 食糧問題研究委員会

#### ④スケジュール

10 月 15 日 (土)

14:00～14:05 開会挨拶

14:05～15:05 「生協の産直を考える」報告

15:05～16:00 質疑応答と議論

#### ⑤参加

無料です。希望者は下記へ当日接続してください。

<https://us06web.zoom.us/j/82361029720?pwd=bThNZmdpd3ZhMGtkWVhDdm11cDYyQT09>

ミーティング ID: 823 6102 9720

パスコード: 149340

このテーマにご興味のある方がいましたら、お誘いをよろしく申し上げます。

以上です。